

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	留学生の日本就職に関する研究 - 大学院生を中心に -
Title(English)	
著者(和文)	ライアン優子
Author(English)	Yuko Raian
出典(和文)	学位:博士(学術), 学位授与機関:東京科学大学, 報告番号:甲第26号, 授与年月日:2024年12月31日, 学位の種別:課程博士, 審査員:村山 武彦,高田 潤一,木内 豪,錦澤 滋雄,高橋 史武,佐藤 由利子
Citation(English)	Degree:Doctor (Academic), Conferring organization: Institute of Science Tokyo, Report number:甲第26号, Conferred date:2024/12/31, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	論文要旨
Type(English)	Summary

論文要旨

THESIS SUMMARY

系・コース： Department of, Graduate major in	地球環境共創	系 コース	申請学位（専攻分野）： Academic Degree Requested	博士 Doctor of	(学術)
学生氏名： Student's Name	ライアン優子		審査員主査： Chief Examiner	村山 武彦	

要旨（和文 2000 字程度）

Thesis Summary (approx.2000 Japanese Characters)

本研究の目的は、日本の大学への留学と日本就職の関係を多角的に明らかにし、労働力人口の減少が深刻化する日本における、大学院留学生の高度人材としての活躍に資することである。

第 1 章では、研究の背景として日本の外国人材受入政策における留学生の位置づけから日本において大卒留学生の就職課題に取り組む意義を述べ、課題の現状について概観を示した。また関連する先行研究を整理し、本研究が取り組む主題を明らかにした。第 2 章では、本研究の理論背景を述べ、留学生の送り出し国から日本への留学、学位取得、卒業後の就職の過程の分析枠組みを提示した。続けて、研究の概要を示し、分析方法と、使用する変数の選定理由を述べた。第 3 章では、留学生の日本就職希望と日本就職結果の分析を行い、それらの照合を元に日本で就職を希望していたができなかった留学生の属性グループを特定した。第 4 章では、国別の日本の大学の学位課程への留学パターンの分類と、パターン別の日本就職結果への影響要因の分析を行った。第 5 章では、高度人材として活躍が期待されるが日本での就職に課題のある、修士課程理工系英語プログラムで学ぶ留学生の特徴の分析と、その特徴が就職結果にどのような影響を与えたかについて、就職希望と結果、就職活動、日本語学習の状況の分析を元に考察した。第 6 章では各章の分析結果を合わせ、主要送り出し国からの日本の大学への留学から日本就職に至る過程を整理し、入学経路、卒業学位と日本就職の関係について総合的に考察するとともに、日本での就職を目指す留学生の産学官連携による教育・支援体制を提案した。

本研究の成果は主に以下の 3 点である。1 点目は、非漢字圏からの修士課程への留学生が日本で就職を希望していても就職ができない日本就職弱者であることを実証的に示したことである。既存の研究が、サンプリングの段階で既に、少数の大学に在籍する者や特定の属性のものを対象としていたところ、本研究では全国調査のデータを用い、留学生全体を属性カテゴリーで分けて日本就職希望と日本就職結果の照合を行うことで、他の留学生との相対比較で、非漢字圏からの修士課程への留学生の日本就職率が低迷していることを示した。就職支援を必要とする留学生の特性の明確化は、効果的な支援の設計、実施に有意義な示唆を与える。

2 点目は、日本政府が重要視するイノベーションに貢献する外国人材であるが日本就職弱者でもある、修士理工系英語プログラム留学生について、先行研究が課題の抽出に留まっていた中、就職活動状況を詳細に示し、進路希望と就職結果の照合を行い、日本就職の可能性向上条件を明らかにしたうえで、教育支援体制構築に向けた提言を行ったことである。国際競争下にある日本の研究大学を中心に英語プログラムによる留学生の受入は今後も維持、もしくは拡大が見込まれる。そのため、英語プログラムで教育を受ける留学生の日本就職は、日本の留学生政策と高度外国人材政策における継続的な課題である。

3 点目の成果は、日本の労働市場が構造的に取り込みやすい日本で得た大卒以上の学歴と高い日本語力を持つ留学生が、どの国からどのような教育経路で日本の新卒採用市場に参入していたかを実証データで明らかにしたことである。留学生の就職について、これまでは特定の出身国についてしか分析されてこなかったが、本研究では留学生全体の 9 割以上をカバーする留学生の主要送出し 15 か国について日本留学のパターンで分類し、大学の各学位課程卒業後の労働市場への参加状況と合わせて包括的に示した。本研究による送出し国や課程別の日本留学・就職パターンの提示は、産学官が連携をして留学生の受入促進と日本の労働市場への参入促進を戦略的に進める上で、現状の共通理解の形成を促進する。

一方で本研究では、一部のサンプル数の少ない国籍グループの日本就職に向けた準備状況の把握に限界があったことと、非理工系の英語プログラム生について扱うことができていないこと等の課題が残った。これらは、本研究が既存の調査の 2 次データを利用していること、調査の焦点を理工系学生にあてたことに主に起因しているため、今後は、調査方法、調査対象の拡大について検討が必要である。

備考：論文要旨は、和文 2000 字と英文 300 語を 1 部ずつ提出するか、もしくは英文 800 語を 1 部提出してください。

Note : Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東京科学大学リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Science Tokyo Research Repository Website (T2R2).

論文要旨

THESIS SUMMARY

系・コース： Department of, Graduate major in	地球環境共創 コース	系	申請学位（専攻分野）： Academic Degree Requested	博士 Doctor of	(学術)
学生氏名： Student's Name	ライアン優子		審査員主査： Chief Examiner	村山 武彦	

要旨（英文 300 語程度）

Thesis Summary (approx.300 English Words)

Against the backdrop of Japan's declining population and chronic labour shortages, this research examines the relationship between international students' degree studies at Japanese universities and their post-graduation employment, with the aim of supporting the career development of international graduates in Japan.

The study consists of three parts. The first part analyses data from the International Student Career Outcome Survey to identify characteristics associated with a higher likelihood of securing employment in Japan after graduation. It also considers international students who, despite their aspirations, encounter challenges in finding jobs.

The second part maps the educational and employment pathways of international graduates from 15 key countries that collectively account for over 90 percent of Japan's international graduate population. It investigates what factors influence international graduates' entry into the Japanese labour market.

The third part is a case study focusing on international students enrolled in English-taught master's programmes in science and engineering and the difficulties they often face in securing employment. This section examines their career aspirations, job-search behaviours, and Japanese language proficiency to provide a nuanced understanding of their circumstances.

Through this multi-faceted analysis, the research offers practical insights into facilitating the transition of international students from education to employment. It underscores the importance of tailored support strategies, enhanced language training, and coordinated efforts among industry, academia, and government to optimise the contributions of international graduates to Japan's workforce and innovation landscape.

備考：論文要旨は、和文 2000 字と英文 300 語を 1 部ずつ提出するか、もしくは英文 800 語を 1 部提出してください。

Note：Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東京科学大学リサーチポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Science Tokyo Research Repository Website (T2R2).